

信大生の英語力について

橋本 功・David Ruzicka・宮崎 清孝
藤沢 衛・下井一志・矢澤徳夫

1 はじめに

昨今盛んになった国際化を反映して、英語教育の重要性がますます高まってきた。それに応じて必要とされる英語力は、かつての「文献を読み解く能力」から「実用的な会話や討論の能力」や「インターネットなどを介した双方向のコミュニケーション能力」に比重が移ってきた。このような社会状況にあって興味深いのは、大学における英語教育の実体である。

高校では、生徒に対して受験期までに可能な限り英語能力を高める努力をしている。しかし一方で、大学進学を果たした高校卒業生から、「大学の英語の授業は面白くない。力がかからない。」「高校の英語よりやさしい。」などといった声が聞こえてくる。現代の日本の教育システムでは、高校から大学への英語教育をスムーズに繋げるのが困難な状況にある。日本では「高校生が大学に入ると英語力が落ちる傾向にある。」とささやかれる大きな原因の一つがここにあると考えられる。しかし現在のところ、それを示す客観的なデータはない。本稿の目的は、大学生の英語力の実体を高校生と比較することによって把握することである。

2 高校生と大学生の英語能力

本稿の目的を達成するために、県下4つの高等学校の生徒289名と信州大学生441名に協力を願い、被験者になっていただき、同一の英語の試験を課した。そこから得られるデータを比較検討して、信州大学生の英語力と信州大学の英語教育の効果の実体にメスを入れるためである。試験の実施時期は平成12年12月、大学生にとっては大学入学後9ヶ月を経過した時期である。また、今回の調査は、高校生と大学生の異なる集団を対象に、同一時期に実施したものであり、同一学生を追跡調査したものではない。

3 調査範囲

協力願った生徒及び学生の被験者の内訳は以下のとおりである。

高校生被験者が所属する高等学校は、大学進学希望者が大多数を占める長野県内の4校である。そのうちB高校を除く3校は、全て普通科の生徒である。B高校の被験者のうち2年生は国際教養科の生徒である。国際教養科の被験者集団には英語が得意で、英語力が県下の高等学校でもトップクラスの生徒が集まっている。被験者を全体的として見れば、大学進学を希望する生徒の多い、いわゆる「進学校」に属する生徒である。ただし、進学希望先および進学の実体は各高校とも多様であり、英語の学力についても上位から下位までの間にはかなりの幅がある。これらの高校の平成12年度の国立大学進学先については資料1「国立大学合格者数：平成13年卒業生（現役生のみ）」参照。

表1 被験者の範囲

1) 高校生被験者

| | A高校 | B高校 | C高校 | D高校 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|------|
| 2年 | 30名 | 41名 | 39名 | 38名 | 148名 |
| 3年 | 53名 | 34名 | 35名 | 19名 | 141名 |

2) 信大生被験者

| 文系 A学部 | 文系 B学部 | 文系 C学部 | 理系 A学部 | 理系 B学部 | 理系 C学部 | 理系 D学部 | 理系 E学部 | 合計 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|
| 62名 | 56名 | 33名 | 71名 | 48名 | 76名 | 41名 | 54名 | 441名 |

信州大学へ進学する生徒は各高校においておおむね成績が中位かそれ以上の生徒である。高校内における成績の順位は高校によって異なる。例えばA高校では、信州大学に確実に合格するためには学年の生徒集団のなかで成績が上位10%に入っていないと、合格が困難である。各4校の国立大学合格状況については資料1を参照。

被験者になった信州大学生は、各学部の英語クラスの学生である。正確には調査に適した時間帯に開講されている英語のクラスで、担当教官の許可が得られたクラスの学生に試験を実施した。したがって、被験者は各学部を代表するものではない。ただし、信州大学学生の英語能力の把握には有効であると考えられる。

4 英語能力の調査内容

今回実施した試験は当プロジェクトチームが作成したものである。範囲は高等学校で学ぶ内容を逸脱することなく、平易な問題から難度の高い問題まで幅広く出題した。このことは、表4に示すように、高校生被験者も大学生被験者もともに得点分布が、20点から90点までの間に散らばっていることから証明できる。調査したのは、「リスニング」、「文法・会話表現」、「語彙・作文」の3分野である。この3分野は基礎的な英語力を知るために有効であると判断したためである。以下この試験を「統一試験」と呼ぶ。実施した試験の内容については資料2参照。

統一試験の実施についての詳細は以下のとおりである。

- 1) 調査日 平成12年12月の第2週
- 3) 被験者 調査期間に開講されている英語のクラスで、担当教官の許可が得られたクラス
- 2) 調査時間 50分（リスニングテスト15分を含む）
- 3) 調査の分野と配点は表2のとおりである。

表2 調査の分野と配点

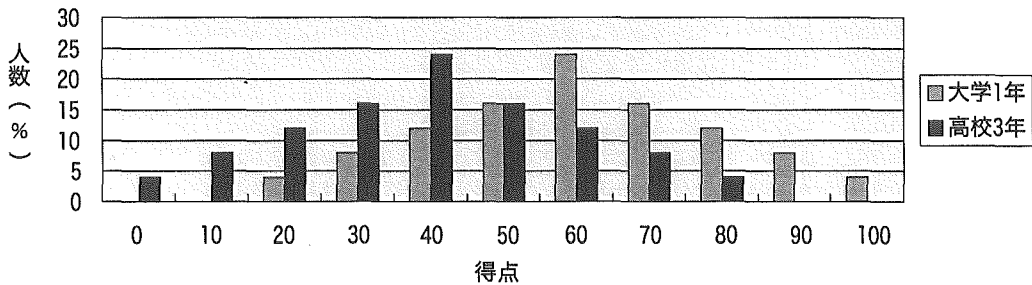
| | リスニング | 文法・会話 | 語彙・作文 | 合計 |
|----|-------|-------|-------|------|
| 配点 | 30点 | 40点 | 30点 | 100点 |

5 予想される結果

大学受験前の高校生被験者の能力は多様であるが、大学生被験者の入学時の英語能力も学部によって差がある。しかし、一般的に言えることは、大学生の被験者は入学試験に合格し、大学で学習可能な英語力を身につけている、いわゆる、選別された集団である。この事実から次の予測が可能である。

- 1) 高校生の被験者集団の方が成績が上位から下位まで幅広いばらつきがある。
- 2) 信州大学の学生の方が成績のばらつきの幅が狭く、かつ、高校生よりも高得点の位置に分布する。
- 3) 信州大学の学生は高校卒業後9ヶ月経過している。その間、更に能力が上がった学生がいると同時に能力を下げた学生もいる。

表3 予想得点分布イメージ



この予測に基づけば、同一の試験を課した場合、高校3年生被験者と信州大学1年生被験者の得点分布は上表のような傾向を示すことが予想される。

6 調査結果

調査結果は以下のようなグラフになった。

表4 高大英語統一試験得点分布

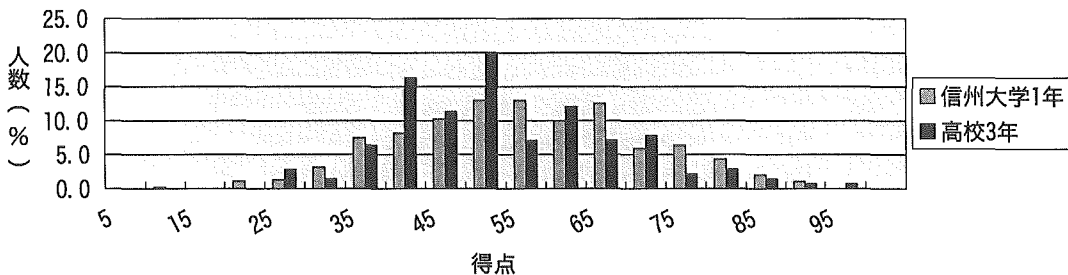


表4から以下のことが明らかになる。

- 1) 高校3年生被験者では40点と50点の得点者数が突出している。全体にてこぼした印象があり、高校生被験者が多様な生徒で構成されていることを窺わせる。

- 2) 大学生被験者はある程度の正規分布を形成しており，50点から55点の得点者数が頂点となっている。また，65点の得点者数がそれに次ぐ山である。
- 3) 高校生被験者，信大生被験者ともに分布の幅は20点から90点までと幅が広く，英語力の差に大きな開きがある。
- 4) 高校生被験者と信大生被験者の分布のずれは表3の予想ほどは大きくはない。
- 5) 35点以下の得点者数の割合は，信大生被験者の方が高校生被験者より高くなっている。

信大には高校の中位から上位の成績の生徒が進学しているにも拘わらず，信大生被験者の成績は，入学後9ヶ月経ても，高校生被験者とそれほど大きな違いはない。この事実をどのように判断すべきであろうか。一般的なデータに照らせば，「信大生の英語力は，入学後，伸長した形跡が見られない」と言えるであろう。

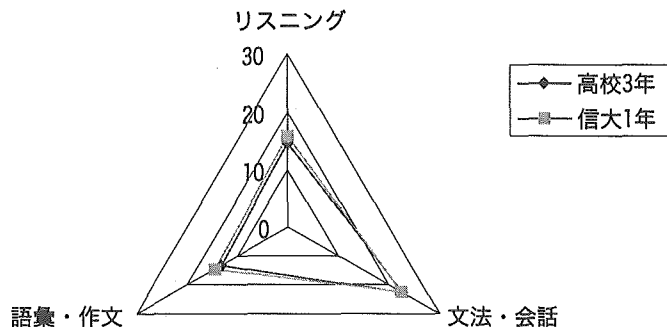
7 英語能力の分野別得点状況

次に分野別英語能力の実体を分析する。各分野の平均点を高校3年生被験者と信大1年生被験者間で比較すると以下のようなになる。

表5 分野別平均点

| | リスニング | 文法・会話 | 語彙・作文 | 合計 |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 配点 | 30点 | 40点 | 30点 | 100点 |
| 高校 | 14.65 | 22.65 | 13.16 | 50.46 |
| 大学 | 15.78 | 22.44 | 14.48 | 52.70 |
| 差 | +1.13 | -0.21 | +1.32 | +2.24 |

表6 分野別平均点比較



信大生被験者は文法・会話で高校生被験者の平均点を下回っている。リスニング，語彙・作文では，僅かではあるが高校生被験者を上回っている。この差が持つ意味については判断の分かれるところであるが，表6を資料とする限り，大きな違いはないと考えられる。高校生被験者が卒業時点の英語能力の貯金を減らしつつこの結果に至ったと見るのが妥当であろう。大学入試を突破し，入学後9ヶ月が経過している大学生被験者が，普通科高校生の平均

点とほぼ同じ状況となっているという実体は問題にすべきであろう。

高校3年生被験者のうち、上位約8%（11名）と下位約40%（54名）の被験者を除外して、平均点を算出してみた。いささか乱暴ではあるが、これは信大入学が可能な高校3年生の成績に近づける統計上の試みである。この予測値と信大生被験者の平均点を比較すると次のようになる

表7 予測値との比較

| | 平均点 |
|-------------|-------|
| 高校3年 | 50.46 |
| 予測値 | 55.27 |
| 信大1年 | 52.70 |
| 予測値と信大1年との差 | -2.57 |

高校側が持っている大学受験データからも、高校教諭の進学指導の経験に照らしても、県下の高校から信州大学へ進学する生徒は、少なくともその高校で中位以上の成績を保持している。それに基づいて平均点の予測を立てたのが上表の数値である。この数値はあくまでも、高校卒業時点での予測であって、大学進学後の英語力の伸びを考慮していない。したがって、上記の予測値55.27に対して信大1年生被験者の52.70は、卒業後伸びていないばかりか、英語力が落ちていると結論づけるに十分な数値である。

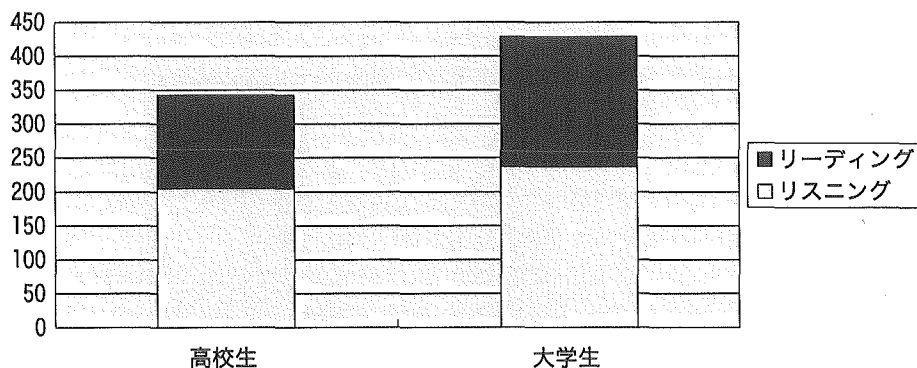
参考までに、一般的に日本の高校生と大学生との間に英語能力の差がどのくらいあるのか TOEIC（2000年度）の全国規模の統計結果で示したのが表8である。

表8 2000年度 TOEIC 平均点比較

| | リスニング | リーディング | 合計 |
|-----|-------|--------|-----|
| 高校生 | 205 | 138 | 343 |
| 大学生 | 237 | 191 | 428 |
| 差 | +32 | +53 | +85 |

受験者数 高校生 19,433人 大学生 100,154人

表9 2000年度 TOEIC 平均点比較



8 高校1・2年生被験者と信大生被験者との伸長度の比較

次に高校2～3年生被験者の成績と信大1年生被験者の成績を比較して、英語能力の伸長度を、統計上見ることとする。大学入学時の英語能力は高校間、学部間、あるいは、被験者のグループ間で異なるが、ここではそれらを考慮せずに数値を平均化して比較を試みる。なぜなら、今回実施した高校生被験者集団は、大学受験を経て選抜される以前の集団であり、信大生被験者はどのグループに属していようと、大学入学試験に合格し、その後順調に英語力が伸びていけば、高校生の平均点を下回ることにはないと予想できるからである。まず2高校の被験者と信大生被験者全体を比較し、次に高校生被験者全体と信大生被験者をグループ別に比較する。

1) 2高校被験者と信大1年生被験者との伸長度比較

表10 C高校生と信大1年生との伸長度比較

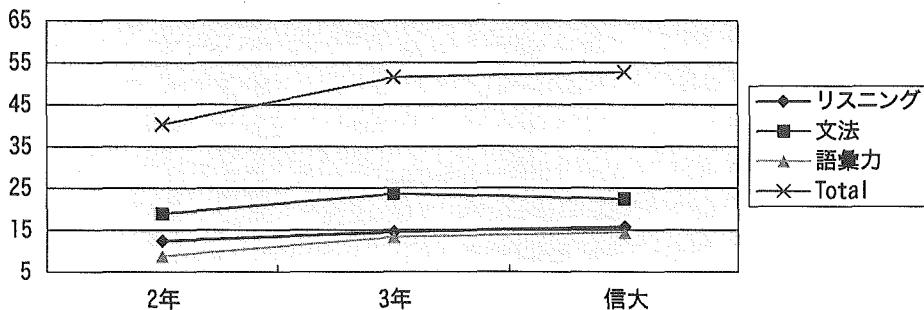
C高校

| | 2年 | 3年 | 信大 | 伸長度 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| リスニング | 12.51 | 14.51 | 15.78 | △ |
| 文法・会話 | 18.97 | 23.71 | 22.44 | ▲ |
| 語彙・作文 | 8.74 | 13.29 | 14.48 | △ |
| Total | 40.22 | 51.51 | 52.70 | △ |

△＝高校2年から3年より、高校3年から大学1年の得点の伸びが低い場合

▲＝信大の平均点が高校3年の平均値を下回っている場合

表11 C高校生と信大生との比較



調査した全ての分野で、統計上信大生被験者の英語力の伸びが鈍化している。特に文法力の落ち込みが大きい。もちろんこの統計処理は現実の伸長率を示すものではなく、仮定上の伸長率である。

信大生被験者は調査した全ての分野で高校3年生被験者の平均点を下回った。信大生被験者の平均点は高校2年生被験者の平均点とほぼ同じであった。

表12 D高校生と信大1年生との伸長度比較

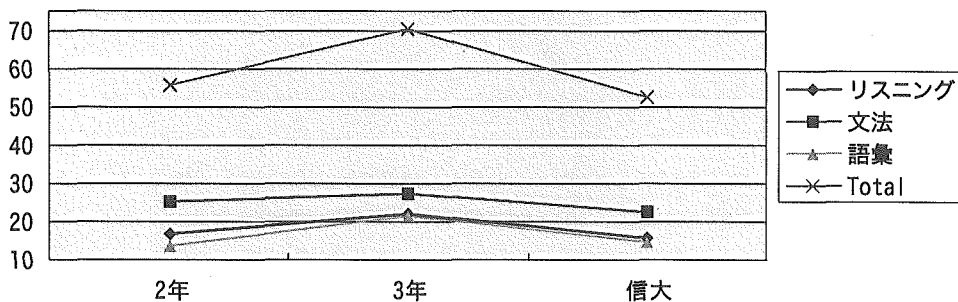
D高校

| | 2年 | 3年 | 信大 | 伸長度 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| リスニング | 16.74 | 22.11 | 15.78 | ▲ |
| 文法・会話 | 25.00 | 27.05 | 22.44 | ▲ |
| 語彙・作文 | 13.89 | 21.37 | 14.48 | ▲ |
| Total | 55.63 | 70.53 | 52.70 | ▲ |

△=高校2年から3年より、高校3年から大学1年の得点の伸びが低い場合

▲=信大の平均点が高校3年の平均値を下回っている場合

表13 信大生とD高校生との比較



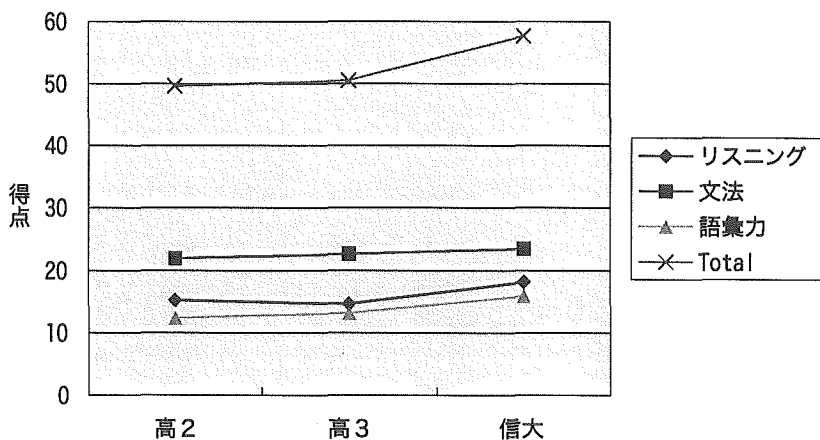
2) 高校生被験者全体と信大生被験者各グループとの伸長度の比較

(1) 文系A学部被験者の場合

図14 文系A学部

| | 高2 | 高3 | 信大 |
|-------|-------|-------|-------|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 18.19 |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 23.52 |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 15.98 |
| Total | 49.64 | 50.46 | 57.69 |

表15 文系A学部



全ての分野で高校2年生被験者と高校3年生被験者の伸び率を上回った。合計点の平均も予測値55点を上回った。文系A学部は言語とそれに関連する分野を専攻するために英語の能力が高いと考えられる。しかし、本来、語学が得意な学生が集まっている学部で、この点数が満足するべきものなのかは疑問である。

(2) 文系B学部被験者の場合

表16 文系B学部

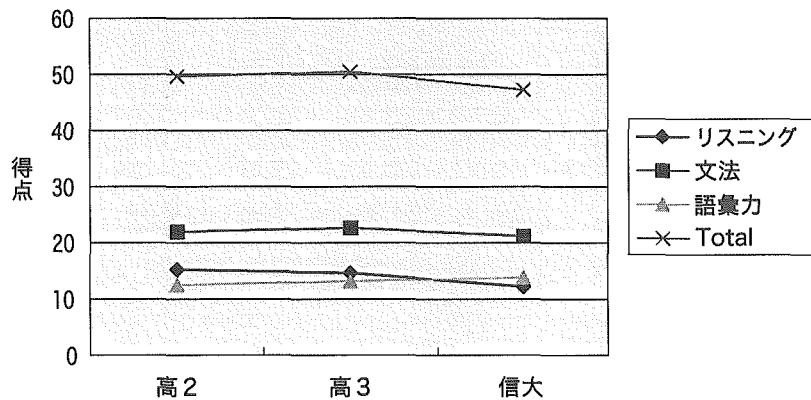
| | 高2 | 高3 | 信大 | 伸長度 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 12.21 | ▲ |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 21.18 | ▲ |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 13.84 | △ |
| Total | 49.64 | 50.46 | 47.23 | ▲ |

△=信大の平均点が高校2, 3年から予測される伸び率を下回っている場合

▲=信大の平均点が高校3年の平均値を下回っている場合

語彙力を除く全ての分野、そして合計点で高校生被験者の平均点を下回っている。文系B学部被験者集団は、学部の性格上、文系から理系まで多様な学生の集団であるが、高校卒業時点より英語力は明らかに低下しているとの判断が可能である。唯一、高校3年生被験者の平均点を上回っているのは語彙力であるが、これも、高校2年から高校3年にかけての伸び(0.7点)には及ばない。

表17 文系B学部



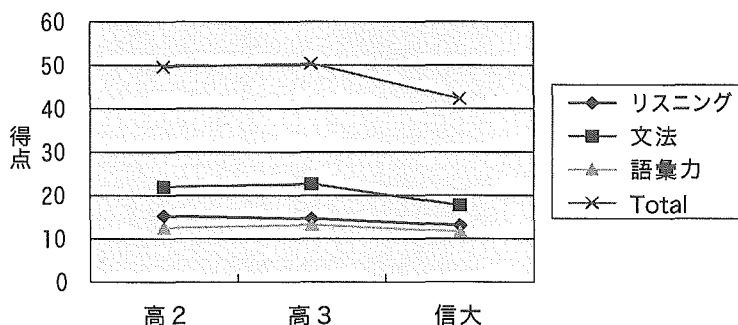
(3) 文系C学部被験者の場合

表18 文系C学部

| | 高2 | 高3 | 信大 | 伸長度 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 13.03 | ▲ |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 17.70 | ▲ |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 11.61 | ▲ |
| Total | 49.64 | 50.46 | 42.33 | ▲ |

▲=信大の平均点が高校3年の平均値を下回っている場合

表19 文系C学部



3分野で高校生被験者の平均点を下回っている。また合計点の平均も高校生被験者よりも8.13点も低い。高校2年生被験者の平均点をも下回っている。

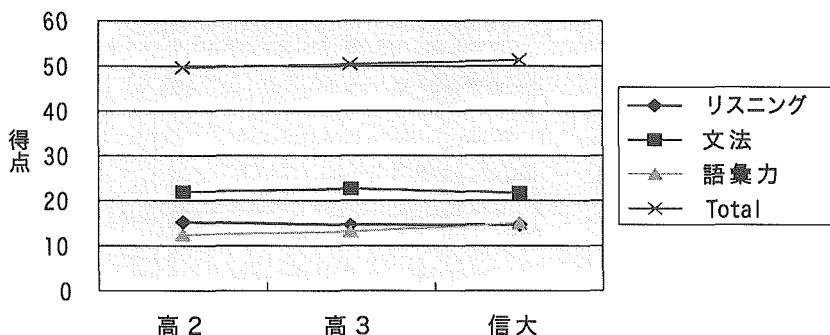
(4) 理系A学部被験者の場合

表20 理系A学部

| | 高2 | 高3 | 信大 | 伸長度 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 14.62 | ▲ |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 21.75 | ▲ |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 14.99 | ▲ |
| Total | 49.64 | 50.46 | 51.35 | ▲ |

▲ = 信大の平均点が高校の平均値を下回っている場合

表21 理系A学部



リスニングと文法で高校3年生被験者の平均点を下回っている。合計点の平均は高校生被験者を上回っているが、僅か0.89点である。高校卒業後、英語の力は伸びていないと考えられる。

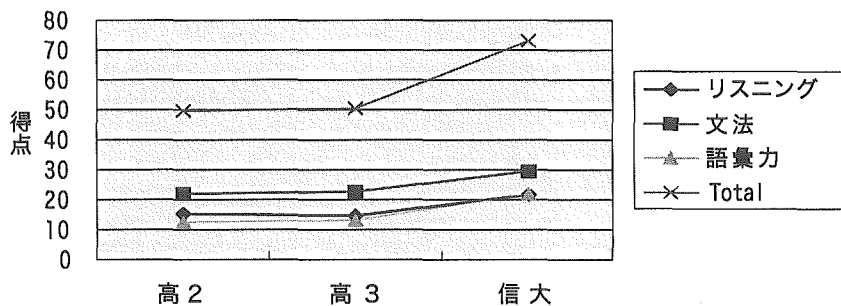
(5) 理系B学部被験者の場合

全ての分野、そして合計点で高校生被験者を大幅に上回っている。このグループは、もともと学力の高い集団であるために、この結果は当然予想された。他グループとの差が顕著であり、このことは、今回の結果には大学入学後の教育効果というよりも大学入学時の成績が反映されていると考えられる。

図22 理系B学部

| | 高2 | 高3 | 信大 |
|-------|-------|-------|-------|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 21.63 |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 29.50 |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 21.90 |
| Total | 49.64 | 50.46 | 73.02 |

表23 理系B学部



(6) 理系C学部被験者の場合

表24 理系C学部

| | 高2 | 高3 | 信大 | 伸長度 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 14.58 | ▲ |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 20.29 | ▲ |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 11.58 | ▲ |
| Total | 49.64 | 50.46 | 46.45 | ▲ |

▲=信大の平均点が高校の平均値を下回っている場合

全ての分野にわたって高校3年生被験者の平均点を下回っている。高校2年生被験者の平均点よりも低い。合計点の平均点でも大きく高校3年生被験者を下回っている。

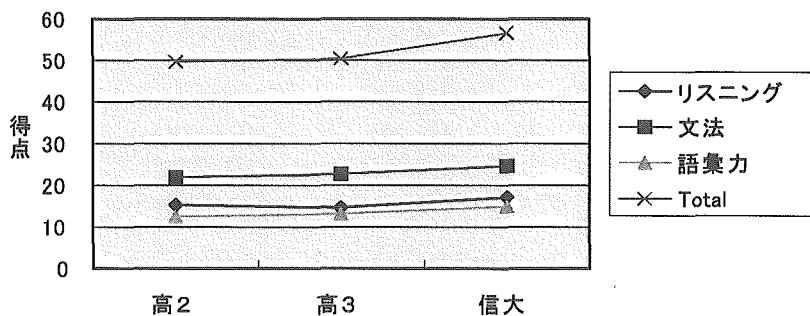
(7) 理系D学部被験者の場合

図26 理系D学部

| | 高2 | 高3 | 信大 |
|-------|-------|-------|-------|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 17.12 |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 24.59 |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 14.90 |
| Total | 49.64 | 50.46 | 56.61 |

全ての分野で高校生被験者を上回り、合計点平均も予測値の55点を超えている。

表27 理系D学部



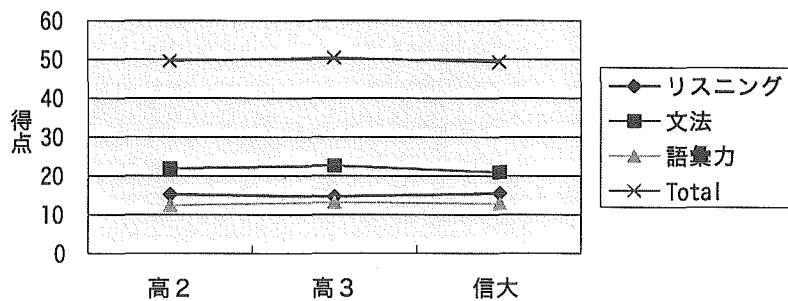
(8) 理系E学部被験者の場合

表28 理系E学部

| | 高2 | 高3 | 信大 | 伸長度 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 15.52 | ▲ |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 20.93 | ▲ |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 12.87 | ▲ |
| Total | 49.64 | 50.46 | 49.31 | ▲ |

▲ = 信大の平均点が高校の平均値を下回っている場合

表29 理系E学部



リスニングを除く分野で高校3年生被験者の平均点を下回っている。合計点でも高校2年生被験者の平均点を下回っている。

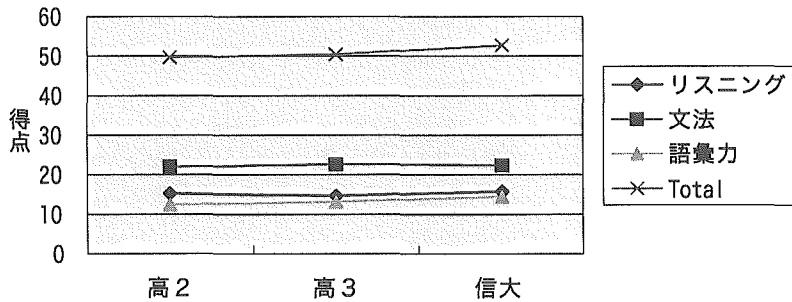
(9) 信州大学被験者全体の場合

表30 信州大学全体(1年)

| | 高2 | 高3 | 信大 | 伸長度 |
|-------|-------|-------|-------|-----|
| リスニング | 15.23 | 14.65 | 15.78 | |
| 文法・会話 | 21.95 | 22.65 | 22.44 | ▲ |
| 語彙・作文 | 12.46 | 13.16 | 14.48 | |
| Total | 49.64 | 50.46 | 52.70 | |

▲ = 信大の平均点が高校の平均値を下回っている場合

表31 平均点比較（信州大学1年全体）



文法が高校3年生被験者の平均値を下回っている。上回っている分野についても、その差は大きくない。少なくとも入学後に英語の力が伸びたとは言い難い。

まとめ

高等学校を卒業して信州大学へ進学した生徒達が入学後、英語力がどのようになるか興味深い問題である。本稿における調査は同一の生徒および学生による追跡調査ではなく、高校と大学という異なる母集団に同一の試験を課したものであった。したがって、異なる母集団の比較の仕方には困難を伴い、また比較する上での統計上の限界もあった。

大学受験という、いわゆる「ふるい」にかけられて進学した大学生のほうが明らかに成績は上であると期待したい。しかし「どの程度上回るのか」についての説得力のあるデータを得ることができなかった。その限界を念頭に置きながら出てきたデータを考察した。結果は、信州大学被験者を全体としてみれば平均点は僅少差で高校生被験者集団を上回った。しかし、その差はわずかであり、得点分布をみると、高校生被験者と同様に得点にばらつきがあった。大学進学後9ヶ月を経たにもかかわらず、上位の学生はあまり増加していなかった。一方、下位の学生被験者は高校生被験者よりも全体に占める割合は増加していた。当初、正規分布のカーブは大学生被験者のほうが得点が上位にずれた形になるのではないかと予想したが、実際にはそのような現象は起こらず、高校生被験者の分布と顕著な差はなかった。

一方、被験者をグループ単位で考察した結果、被験者のグループによりかなりの違いがあることが判明した。1つの文系グループと2つの理系グループが高校生被験者の平均点を大きく上回っていた。一方で高校生被験者の平均点より大きく下回るグループも複数見られた。この場合、各グループは各学部と考えてよいのであるが、このグループごとのばらつきを考えると、これは大学入学時の学力の差がそのまま現れていると考えることもできそうである。全体の得点分布をみても被験者の上位層は高校生被験者と比較してそれほど多くなかった。ということは、入学後の学力がそのままの形で反映したのがこの度の調査結果であり、大学での教育効果はほとんど上がっていないという判断が可能である。一方で、入学後極端に学力を落としている大学生被験者もいることが分布図、そして、グループごとの成績から明らかになる。

大学進学を果たした生徒が、大学の英語の授業に不満を漏らし、英語を勉強するために大学外の専門学校や、語学学校、いわゆる、セカンド・スクールへ通うといった傾向が見られ

る。また、高校では一生懸命勉強するが、大学へ入学してからは勉強しない学生が多いのも、日本の大学の現実である。しかし、現在の大学に求められているのは、高校からの教育の継続性である。英語教育についても例外ではない。高校で身につけてきた英語力に基づいて、更にレベルの高いそして現代の英語の使用場面に即した実用的な力を学生につけるのが大学の責務である。このような観点から、現在の信州大学の英語教育は高校卒業時点での英語の力を十分に伸ばしているとは言えず、高等教育機関としての機能を十分に果たしていないことが今回の調査結果から明らかになった。

参考文献

国際ビジネスコミュニケーション協会 2000 DATA & ANALYSIS. TOEIC 運営委員会, 2001.

資 料

資料 1

国立大学合格者：平成13年卒業生（現役生のみ）

| 大 学 名 | A高校 | B高校 | C高校 | D高校 | 大 学 名 | A高校 | B高校 | C高校 | D高校 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-------------|-----|-----|-----|-----|
| 帯 広 畜 産 | | | 1 | | 横 浜 国 立 | | | 3 | 1 |
| 北 見 工 業 | | 1 | | | 新 潟 | 1 | 6 | 11 | 7 |
| 北 海 道 | | | 4 | | 上 越 教 育 | | | 2 | |
| 北 海 道 教 育 | | | 1 | | 富 山 | 1 | | 7 | 1 |
| 弘 前 | | | | 1 | 富 山 医 科 薬 科 | 1 | | | |
| 小 樽 商 科 | 1 | | | | 金 沢 | 1 | | 9 | 8 |
| 東 北 | | | 4 | 5 | 福 井 | 1 | | 1 | 2 |
| 秋 田 | | | | 1 | 山 梨 | 2 | | 1 | 4 |
| 山 形 | 1 | | | | 信 州 | 3 | 11 | 22 | 12 |
| 福 島 | | 1 | 1 | | 静 岡 | | | 6 | 4 |
| 茨 城 | | | 1 | 1 | 浜 松 医 科 | | | | 1 |
| 筑 波 | | | 1 | 2 | 名 古 屋 | | 1 | 2 | 1 |
| 宇 都 宮 | | 1 | 1 | 1 | 三 重 | | | 2 | |
| 群 馬 | 3 | | 4 | 1 | 滋 賀 | | | 1 | |
| 埼 玉 | | | 8 | | 京 都 | | | 1 | 2 |
| 千 葉 | 1 | | 4 | 5 | 大 阪 | | | | 2 |
| お茶の水女子 | | | 1 | 2 | 大 阪 外 語 | | | 1 | 1 |
| 電 気 通 信 | | | 2 | 1 | 神 戸 | | | | 2 |
| 東 京 | | | 2 | | 島 根 | | | 1 | |
| 東京外国語 | | | 1 | 4 | 広 島 | 1 | | | 1 |
| 東京学芸 | | | 3 | | 高 知 医 科 | | | | 1 |
| 東京工業 | | | | 4 | 九 州 | | | 1 | |
| 東京水産 | | | 1 | 1 | 琉 球 大 | | 1 | | |
| 一 橋 | | | | 1 | 合 計 | 17 | 22 | 111 | 80 |

B高校については平成13年3月時点での数字

資料 2

Section 1 Listening Comprehension

PART 1

In this part of the test, you will hear several questions or statements. After each, read the four possible answers or responses and choose the best one. The questions and statements will not be repeated. You can take notes if necessary.

Example: Yesterday was my first wedding anniversary.

1. Congratulations!
2. I'm sorry to hear that.
3. Good luck!
4. That's too bad.

The correct answer is 1. Now let's begin.

1.
 1. Nothing in particular.
 2. Not really.
 3. No, not now.
 4. I don't want to.
2.
 1. Put on a sweater.
 2. Let's open a window.
 3. Turn on the heater, then.
 4. Shall I take your temperature?
3.
 1. I was busy at 3 : 30.
 2. I don't think it's silly.
 3. Fine. I'll see you then.
 4. O.K. Let's go to the meeting now.
4.
 1. I'm a good tennis player.
 2. Yes, you can.
 3. Yes, I'm here.
 4. Sure, go ahead.
5.
 1. Very well.
 2. Yes, we are.
 3. We rented a car.
 4. We're getting a new TV.

PART 2

In this part of the test, you will hear short conversations between two people. After each conversation, you will hear a question about it. Read four possible answers and choose the best one. The conversations and questions will not be repeated. You can take notes if necessary.

- Example : Man : It's already 10 : 25.
 Woman : We'd better hurry. Class starts at 10 : 30.
 Question : What does the woman mean?
1. The class started at 10 : 25.
 2. They must hurry to reach the class on time.
 3. They don't need to hurry.
 4. They must wait for the class to start.

The correct answer is 2. Now we will start.

1.
 1. In someone's house.
 2. In a grocery store.
 3. In a school.
 4. In a restaurant.
2.
 1. She will not eat cake.

2. She will get herself weighed.
 3. She will eat a lot of cake.
 4. She will check the time.
- 3.
1. Watch the program.
 2. Sit down and relax.
 3. Change the channel.
 4. Turn up the volume.
- 4.
1. She will try not to make any more spelling errors.
 2. She will come back later today.
 3. She will correct the spelling errors.
 4. She is doing the best she can.
- 5.
1. Private universities are worse for getting jobs.
 2. Private universities have longer semesters.
 3. Private universities help to get better jobs.
 4. Private universities are really less expensive.

PART 3

In this part of the test, you will hear several talks. After each talk, you will hear a question. Read the four possible answers and choose the best one. The talks and questions will not be repeated. You can take notes while listening.

Example : Norway is a country in northern Europe. Like many Japanese, people there enjoy drinking coffee. Coffee has been popular in Norway since the end of the 19th century. In Norway, people usually drink strong, black coffee. They think it is strange to add milk and sugar to it. They think black coffee tastes best.

Question : How do people in Norway usually drink their coffee?

1. With milk.
2. With sugar.
3. With milk and sugar.
4. With no milk or sugar.

The correct answer is 4. Now let's begin.

1.
 1. It has its own government.
 2. It recently became independent.
 3. Few people speak English.
 4. It's a very large island.
2.
 1. He was studying to enter an American college.
 2. He spent a long time reading.
 3. He couldn't find the words in his dictionary.
 4. He had to write letters in English.
3.
 1. They have their own bedrooms.
 2. Their parents help them with homework.

3. They don't do any cleaning in their homes.
4. They don't have to help their parents as much at home.
4.
 1. Cancer is rare in ocean animals.
 2. Using sea water lowers the cost of making drugs.
 3. They are searching for more effective medicines.
 4. There are less dangerous diseases today.
5.
 1. It could take place through various processes.
 2. They can still understand each other.
 3. It will be physically separated.
 4. It won't occur in a socially separa

Section 2 : 文法・会話表現知識

Part 1

次の各文の () に入る最も適切なものを選択肢の中から1つずつ選び、解答欄の該当する記号に○をしなさい。

1. The old man had his only son () three years ago.
(1) die (2) died (3) dye (4) dyed
2. Newton's first telescope was very small, () 6 inches long and 1 inch in diameter.
(1) no less than (2) no more than (3) not less than (4) not more than
3. () where she was, she stopped and asked the way on the street.
(1) Knowing no (2) Knowing not (3) No knowing (4) Not knowing
4. It is high time you (); it has grown too long.
(1) have cut your hair (2) had cut your hair (3) have your hair cut (4) had your hair cut
5. He's shy. He never speaks unless spoken to. He () to.
(1) need talk (2) need to talk (3) needs talking (4) need talking
6. Somebody rang my doorbell, but I don't know ().
(1) what did it (2) what was it (3) who it did (4) who it was
7. () party wins in the election, nothing will change.
(1) Both (2) Either (3) Whichever (4) Whose
8. The sisters are () that they share all they have.
(1) so good friends (2) so very good friends (3) good friends (4) such good friends
9. It was so cold today that () anybody went swimming.
(1) all (2) almost (3) hardly (4) most
10. I knew her at once, because I had met her at the party ().
(1) before two years (2) two years before (3) two years later (4) since two years

Part 2

次の各対話の空所に入る適切なものを下記から選びなさい。

1. A: I've finished all my homework, Mom. It took only twenty minutes.

B: () I never expected you to finish it that quickly.

- (1) Take it easy!
- (2) Shame on you!
- (3) Good for you!
- (4) Just in time!

2. A: You don't need to hurry. Why don't you stay a little longer?

B: ()

- (1) I'd very much like to, but I have a long way to go.
- (2) I see. I'll hurry next time.
- (3) Yes, you are welcome.
- (4) Sounds great. I'm looking forward to it.

3. A: ()

B: Oh, that's very nice of you.

A: Should I dry these glasses?

- (1) Would you mind doing the dishes?
- (2) Why don't you do the dishes?
- (3) Can I give you a hand?
- (4) Let's have a break.

4. A: ()

B: They're friendly, but a bit quiet.

- (1) What are your neighbors' children like?
- (2) How alike are your neighbors' children?
- (3) Your neighbors' children are like what?
- (4) How are like your neighbors' children?

5. A: Don't worry. She must have gotten stuck in traffic.

B: I don't know. She might have ——— but then again, I'm not sure.

I'm afraid something might have happened.

A: Now () I'm positive she'll show up.

- (1) I'm afraid you're right.
- (2) I'm getting worried, too.
- (3) it's time we called the police.
- (4) don't jump to conclusions.

6. A: Do you have some free time on Thursday?

B: ()

- (1) Yes, I'm rather busy.
- (2) No, I have some free time.
- (3) Sorry, I have several appointments.
- (4) Yes, I would be happy to see you on Friday.

7. A: Good afternoon, sir. May I help you?

B: ()

- (1) No, hold on a minute, please.
- (2) No, not at all.
- (3) Yes, could you show me some size 8 golf shoes?
- (4) Good afternoon. Nice to meet you.

8. A : What's the matter? You look like you're sick.
 B : () It was over 100°F last night.
 (1) A little better, thanks.
 (2) Yeah, I've got a temperature.
 (3) I'm fine, thank you.
 (4) That's too bad, I'm afraid.
9. A : How are you going to pay? ()
 B : Yes, I think I'd prefer to pay cash.
 A : OK. That's fine. Thank you. Here's your key. Have a nice day.
 (1) Do you prefer to pay by credit card?
 (2) Are you going to pay cash?
 (3) Would you accept any credit card?
 (4) Do you possess any credit card with you now?
10. A : Can you help me?
 B : What's wrong?
 A : I just put ¥120 in the coke machine but nothing came out.
 B : ()
 (1) I guess it's out of order.
 (2) I guess it's broken up.
 (3) I guess it won't go.
 (4) I guess there is no operation.

Section 3 : 語彙力・作文力

Part 1

次の英文中の空欄に入る適語を選び、解答欄の番号に○をして答えなさい。

1. Please do not () to contact me if you need any further information.
 (1) worry (2) mind (3) hesitate (4) pause
2. "Do you like that song?" "Yes. It always () me of my happy school days.
 (1) recalls (2) recollects (3) remembers (4) reminds
3. A : Why does Robert have such a sad () on his face?
 B : His cat died last night.
 (1) expression (2) statement (3) pressure (4) delivery
4. When Betty is () to do something, no one can change her mind.
 (1) avoided (2) indicated (3) determined (4) realized
5. A : Congratulations on finding a job!
 B : Thanks. I was lucky to some () because they needed someone who could speak French, and I do.
 (1) content (2) portion (3) extent (4) extension
6. On () of the team, I'd like to thank you for coming to the game today to support us.
 (1) view (2) favor (3) behalf (4) account
7. A : Good afternoon. I'd like to make a reservation for one person on the 9 : 00 p.m. flight to Osaka tonight.
 B : If you will give me your name, I'll () it for you.
 (1) preserve (2) cover (3) occupy (4) book

8. During my tennis match, I took advantage of my () weak points.
 (1) opponent's (2) enemy's (3) defender's (4) partner's
9. A: Wow, look at all the cars! Are they all () for the beach?
 B: Looks like it. Maybe we should try to find another way.
 (1) heading (2) pointing (3) marching (4) reaching
10. A: Teddy, do you know that man talking with Mr. Brown?
 B: Yes. His name is on the tip of my (), but I can't quite remember it.
 (1) fingers (2) toes (3) head (4) tongue
11. We don't have much time, so we will only make () visit to my uncle's house.
 (1) a frequent (2) a brief (3) an essential (4) an effective
12. A: I hear that John's got a new job.
 B: That's right. He's leaving tomorrow, so we're looking for someone to () him.
 (1) recover (2) supply (3) replace (4) hire
13. A: I haven't seen Mr. Hunt recently.
 B: Oh, he's been () to the head office in Tokyo.
 (1) translated (2) transported (3) transformed (4) transferred
14. A: Would you like to have lunch with me this week?
 B: I'd love to, but I'm afraid I have no time this week. My schedule is so () at the moment.
 (1) tight (2) strict (3) plenty (4) close
15. A: I'd like to change my () my Flight 245. Do you have any flights to New York that leave after two o'clock?
 B: Yes, we have flights at 2:40 and 4:30.
 (1) appointment (2) reservation (3) purpose (4) arrangement
16. On the same day that the pop star's new CD was released, it sold over a million ().
 (1) prints (2) scripts (3) texts (4) copies
17. The book was first published ten years ago. However, the author () it completely this year, so much of the information is new.
 (1) referred (2) rejected (3) revised (4) reflected
18. A: When is the best time for me to come and see you?
 B: My schedule is (), so come whenever you are free.
 (1) responsible (2) reliable (3) flexible (4) probable
19. To () for making me for over 30 minutes for delivery, the pizza shop let me have the pizza for free.
 (1) substitute (2) apply (3) exchange (4) compensate
20. A: I have a () nose. I think I've caught a cold.
 B: I'm sorry to hear that. Here are some tissues.
 (1) risky (2) runny (3) liquid (4) light

PART 2

次の日本語の内容を英語で表現したいのですが、与えられた語を並べ替えて答えなさい。ただし、解答欄には () 内の語のうち3番目と5番目に来るものの記号を答えなさい。文頭に置かれる語も小文字で綴られています。

1. 彼はつきあいにくいやつだね。

(with / along / is / to / difficult / get / he)

A B C D E F G

2. こんどの日曜日ゴルフしないか?
(this / how / playing / Sunday / golf / about)?
A B C D E F
3. 今夜はパーティーに行きたい気分じゃないんだよ。
I (like / feel / going / party / the / to / don't) tonight.
A B C D E F G
4. このコンピューターはどこかおかしいんだよね。
(wrong / this / something / with / computer / is / there)
A B C D E F G
5. 8時に車で迎えに来ていただけませんか。
I (could / if / me / pick / wonder / up / you) at eight.
A B C D E F G
6. 玄関口に来たのは誰だと思う?
Who (came / do / door / the / think / to / you)?
A B C D E F G
7. お願いがあるのですが。
(ask / favor / may / of / I / a / you)?
A B C D E F G
8. ステーキの焼き加減はいかががいたしましょうか。
(you / your / like / steak / would / how)?
A B C D E F
9. おまえを一人で旅行させるわけにはいかないね。
I (can't / you / a trip / go / let / on / alone).
A B C D E F G
10. 何かお手伝いしましょうか。
Is (anything / can / you / I / help / there / with)?
A B C D E F G